

2017 ジャパンオープンチアリーディング選手権

チア 競技概要

変更・追記箇所はハイライト部分

I. 大会スケジュール

2017年10月22日（日）

II. 部門／人数／年齢

編成	部門	年齢	人数
Youth Team (ユースチーム)	Level 1	12歳以下	16~24
	Level 2		
Junior Team (ジュニアチーム)	Level 1	16歳以下	
	Level 2		
	All Girl Advanced (女子アドバンス)		
	Coed Advanced (男女混成アドバンス)		
	All Girl Elite (女子エリート)	13~16歳	
	Coed Elite (男女混成エリート)		
Senior Team (シニアチーム)	All Girl Advanced (女子アドバンス)	18歳以下	
	Coed Advanced (男女混成アドバンス)		
Open Team(オープンチーム)	All Girl Elite (女子エリート)	13歳以上	
	Coed Elite (男女混成エリート)		
	All Boy Elite (男子エリート)	14歳以上	
	All Girl Premier (女子プレミア)		
	Coed Premier (男女混成プレミア)		
	All Boy Premier (男子プレミア)		

[注意事項]

- Junior～Senior 編成ではチームメンバーの最高年齢を上限とした部門を選択すること。
- 同一選手が複数団体でエントリーすることは不可
- 2017年12月31日時点での年齢とする。

III. 競技ルール

Advanced(レベル4以下)・Elite(レベル5)・Premier(レベル6)部門は、ICUが現在発表している2017年度版を使用。レベル1,2についてはUSASFルールが8月下旬から9月に確定のため、2016-17年のものを使用。

IV. 演技時間

1. チアパート：演技の最初または中間に実施することチアクライテリア（30秒程度）
チアパート、音楽パートの間は20秒以内とする。
2. 音楽パート：2分30秒以内

<注> 2018 ICU 世界大会より演技時間の変更（音楽パート2分30秒から2分へ変更）の可能性ある。

※ 大会当日に大会運営側に使用楽曲の歌詞内容に関して確認があった際は、歌詞内容を確認出来る資料の提出をお願いいたします。（原文、外国語の場合は和訳も含める）

V. チアパート

チアリーディングと他のスポーツとの差異を明確にする意味で、演技の始めまたは中間に行うチアパートはこの種目の世界的な独自性を持つもので、音楽無で行うものである。チアでは母国語を用いる事により、国民性を活かしたスタイルを持つ。チアパートは10点満点（100点満点中）
観客をチーム応援に導く能力、サインボード・ポン・スタutz・ピラミッド・タンブリングが観客をリードするために活用されているかが審査されるパートである。母国語使用が推奨される。

VI. 演技フロア

スプリングなしの通常のマット（9枚、12.8m×16.5m）

VII. クロスオーバー（選手の重複エントリー）

同一チームより複数編成・部門へのエントリーは認められる。重複エントリーの際、演技間のインターバルは最大限考慮するが、進行上十分な時間が取れない可能性があることを事前に了承すること。その他クロスオーバーに関しては以下を厳守のこと。

- 同一選手の重複エントリーは2部門まで可能。
- 同じ演技構成で、別編成によって重複エントリーすることは不可。

VIII. ICU アンチ・ドーピング規約：ガイドラインと手続き

ICU Junior World Cheerleading Championships/ICU World Cheerleading Championshipsでは世界アンチ・ドーピング機構（WADA）による検査が実施されることを理解し、アスリート精神に則り、ICUが加盟する世界アンチ・ドーピング機構、日本スポーツチア&ダンス連盟（Cheer Japan）が加盟する日本アンチ・ドーピング機構（JADA）の各規則を遵守する。

IX. 違法賭博と厳正なる結果確定への Cheer Japan 規則と規約について

Cheer Japan は違法賭博と厳正なる結果確定について選手のフェアプレイと競技の品性を保つために規則と規約に則った運営を行う。

X. スポッター

JAPAN OPEN に参加する選手への安全を配慮して、本番フロアではスポッターが提供される。これはあくまで安全な競技環境を整える目的であるので、チームの力量に見合った技術のみを行うこと。

XI. 一般安全規定

1. 全ての選手は監督、コーチの監督を受けること。
2. コーチは技の向上に先立ってコーチという任務への熟達が必要である。コーチは選手やチームの技術レベルに適した内容が実践できるようにすること。
3. 全てのチーム運営者、監督、コーチは不急の事態に備えておくこと。
4. 選手もコーチも、十分な監督や安全な演技を行う能力を妨げるようなアルコール、麻薬、筋肉増強剤、処方薬の影響下にある場合は、練習や演技を行ってはならない。
5. 選手はいつでも適正な場所で練習、演技すること。技術的なスキル(スタンツ、ピラミッド、トス、タンブリング)はコンクリート、濡れている場所、平らでない場所、障害物のある場所では行わないこと。
6. 競技の間は柔らかいソールの靴を着用する。社交ダンスシューズ、ブーツ、体操シューズ（または同等品）は禁止。
7. 耳、鼻、舌、へそまたはフェイシャルリング、ブレスレット、ネックレス、ユニフォームにつけるピンは禁止。ジュエリーは外すかテープでとめること。例外：医療用 ID タグ、ブレスレット。ユニフォームや皮膚にしっかりとつけている状態のラインストーンは可。
8. (注：スタンツにおいて投げる際などの場面で)動作の力を増強させるような設備の使用は禁止。
例外：スプリングフロア
9. 旗、バナー、サインボード、ポンポン、メガフォン、布のみが使用可能な道具。竿や同等のもので支持して使用する道具はスタンツやタンブリングでは使用してはならない。道具を投げる時は危険のないようにする。
(例：サインボードをスタンツからマットを横切って投げることは違反にあたることもある)
ユニフォームの一部を体から外して視覚効果に使用した場合は道具とみなされる。
10. メーカーのオリジナルのデザイン・製品から変えていないサポーター・添え木・柔らかいギプスは追加で覆うものは不要。もしスタンツやピラミッド、トスに関わるのであれば、メーカーのオリジナル品から変えているサポーター・添え木・柔らかいギプスは 1.5 インチ(約 3.8 センチ)以下の厚みのガーゼなどで覆うこと。固いギプス(例:ファイバーグラス・プラスチック)や歩行補助用ブーツを履いている選手がスタンツ、ピラミッド、トスに関わるのは禁止。
11. レベルグリッドにおいて、当該のレベルはそれより下のレベルのスキルを包含する。
12. 望ましいスポッターとは、チームメンバーであり正しいスポッティングテクニックを学んでいること。
13. ひざ、尻、腿、体の前面、背中での着地、ジャンプ、スタンツや逆さ姿勢からのスプリット着地は、着地の衝撃を和らげるため手や足に体重の大部分が乗っていなければ不可。
14. 演技の開始時、選手の片足、片手、体の一部（髪以外）が競技フロアに接していること。シュシュノバは可。
補足：ベースの手に足を乗せている場合はベースの手がフロアに接していること。
15. 競技者は演技の間は交代してはならない。
16. 窒息を防ぐため、選手は練習でも大会演技時でもガム、キャンディー、咳止めドロップなどの食べるもの、または食べ物以外でも、口に入れてはいけない。

XII. ユニフォームガイドライン

性的感情を誘発するような、猥褻じみた下着のように見えるユニフォームや衣類は禁止。

ユニフォーム（個々のパーツを含む）・アンダースコート又はスパッツは選手の体を適切に覆い、衣類上の問題が起きるのを防ぐように十分締め付けていなければならない。適切な下着を着用しなければならない。

下記の個々のガイドラインに加えて、選手はユニフォーム（ユニフォームの個々のパーツも含む）が適切かどうか理解していること。全ての衣類は適切に選手自身と選手の下着を演技中に覆っていなければならない。

● ユニフォームスカート/ショーツガイドライン

スカートをユニフォームの一部として着用する時は、スカートの下にアンダースカートを履かなければならない。

スカートはお尻を全て覆うものでなければならない。

スカートはアンダースカートを完全に覆い、長さはアンダースカートの裾より最低1インチ（2.54 cm）長くなければならない。

スパッツをユニフォームの一部として着用する場合は、スパッツの股下の長さが最低2インチ（5.08 cm）なければならない。

● ユニフォームトップスガイドライン

ジュニア部門で競技する競技者のユニフォームトップスは、腹部を見せてはならない。

ユニフォームトップスは最低どちらかの肩、又は首の周りを布で覆うか、ストラップで固定されていなければならない。（チューブトップは着用不可）

審査員はチームのコリオグラフィー・ユニフォーム・化粧・ボウ（リボン）などがこのガイドラインで説明されている「適切さ」の基準に満たないと判断した場合、警告・減点の権利を有する。

【競技ルールに関する問い合わせ】

※安全規定に関する問い合わせは、チーム名と連絡先を必ず明記のうえ、動きを撮影した動画を下記アドレスにメール添付にて送信、もしくはリンク先 URL をご連絡ください。

※受付期間：9月末日 *余裕を持ってお問い合わせください。

E-mail : technical@jfscheer.org Cheer Japan 競技部 宛